

Voice 「山の教室」にご参加を！

教育遭対部 「山の教室」事務局 木村治朗

教育遭対部で2016年に、スタンプ制単発講習会という名称で始まったこの講習会、早いもので今年でちょうど10期目を迎えています。大阪労山では、「会の教育は基本各会で」や「連盟ではリーダー養成学校をすべきでメンバー学校はしない」という基本方針で来ていますが、個別の講習に関してはその無駄を省き、各種学校や機関、各会の教育の共有できるところは共有していこうという考えのもとにスタートしています。

講師の方々は本当に色々と工夫、研究を重ねて、より良い講座を作ろうとしてくださっていますし、会によっては受講費用を負担するなどの使い方をしてくれているところもあります。が、大阪労山の会員の中には、まだまだその存在すら知らないといった方々も多くいるのが現状で、正直参加されている会はせいぜい10クラブくらいのもんです。色んな分野の講習がたったワンコイン(実技、リーダー講習は1,000円)で受けられるのは非常にお得だと思いますし、どの講座も山に行く以上、ある程度理解しておくべき内容のものばかりです。

現状開催されている講座は以下の内容です。

- 遭難事例研究
- 気象(春山、夏山、冬山)
- 地形図の読み方
- 応急手当
- ハイキングレスキュー(お助け4点セット活用法)
- アルパインクライミングのための制動確保 ※今期は中止
- パーティー論リーダー論

講座の項目は、スタート当時からさほど変わっておりませんが、内容は色々と講師、担当者の工夫によって改善されてきております。

また内容も1回受講して身につく内容ばかりではありません。

ぜひ定期的な受講をお願いいたします。

また、せっかく大阪労山には多くの大先輩方がおられますので、是非ともその大先輩方がお元気なうちに色々な技術や知識を受け継いでいきたいと思っております。できる事ならもっといろんな分野での技術、知識の継承をして行けたらと思います。

こんな講座をして欲しい

〇〇さんにこんなことを教えて欲しい

などなど

ぜひ皆様のご意見お待ちしております。

<https://ws.formzu.net/dist/S37567853/>



干し野菜を使った料理教室のご案内

主催：女性委員会

ダイエットに向けて簡単・美味しい・軽い

「豚汁」作りを楽しみませんか？



日時： 2025 年 9 月 6 日（土）午前 10：00～

場所： 大阪府勤労者山岳連盟事務所
大阪市福島区吉野 3-2-35
一般社団法人大阪宣伝センター機関紙会館内

交通： JR 環状線 「野田駅」下車 徒歩 4 分
地下鉄千日前線 「玉川駅」下車 4 番出口 徒歩 5 分

定員： 先着 10 名 （労山会員のみ）

持ち物： 食器 箸 お茶 筆記用具

参加費： 未定（参加人数により材料費分担します。）

申込み： 笠井 kfumi.1951@gmail.com

申込期限 2025 年 8 月 17 日（日）定員になり次第締め切り

1. 憲章の実践 7月16日現在 沢村：sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

＋ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m以上での目撃に限ります。 ()：前期

らいちょう 2件(29件) 鳥獣 0件(5件) 昆虫 0件(3件)

環境省・いきものログ投稿：今期・1件 累計・85件 全投稿数・188件

＋ 倒木対策 5件(9件)

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を！自治体および私に連絡を。

6/1、泉州労山がクリーンハイク・笠山で倒木2本をノコギリ処理

6/1、八尾労山がクリーンハイク・信貴道で倒木を発見、役所に処置を依頼。

6/1、淀屋橋労山がクリーンハイク・札立山コースで倒木を発見、私が役所に写真を転送し処理を依頼。市の回答、場所が分からない。

6/25、岩湧山倒木の件、大阪府の回答、予算がなく処理できない。

＋ 定点写真観察活動(山岳自然の異常現象とかゴミ問題など) 0件(1件)

山岳写真データベースに協力

高槻・カタクリその後の情報をお聞きたい

高槻情報「たくさん咲き、年々増えており、多くの登山者の方が見学に見えています。

好日山荘のツアーも来ていました。

2. クリーンハイク 6月1日、天候に恵まれ各山域とも実施。

参加者数：412人 ごみ：265Kg 6/8、報告書を送付

3. 自然保護講座

期日：9月27日(土)～28日(日)

開催場所：弘前市岩木青少年スポーツセンター

・50名で予約 8月15日までに男女人数決定しないといけない

・ジャーナルで参加・投稿を呼びかける

・6/8 青森県連の基金説明会で源島さんが下見および打ち合わせする

宿泊費 3,800円 夕食 1000円 朝食 800円・大会議室 1時間 1000円・談話室 1時間 500円(今年度から値上がりしている)

講師：佐々木邦夫「北海道大学非常勤講師・北海道風力発電問題ネットワーク代表」
(北海道からの交通費・謝礼・宿泊代を支給、空港からの送迎は道川夫婦が行う)

道川勇子ご夫婦(交通費支給・宿泊代は自己負担)

4. 山門水源の森 11月1日に企画 八尾・中路さん担当

有料ガイドのご案内&申込 交通便、有料ガイド経歴調査 京都労山より情報。

日頃、当地の保全活動や調査に携わっているガイドが、ご案内いたします。経験豊富なガイドの説明により、多様な自然を楽しんでいただきながら、この森のしくみと保全の重要性を正しく理解していただけることと思います。

グループ・個人を問いませんが、あらかじめ下記の注意事項をお読みいただきご予約ください。特に、旅行会社などは必ず募集前に計画をご相談ください。ご相談のない場合、ガイド依頼を受けられないことがあります。春・秋のシーズンにガイド依頼が重なると人の確保ができなくなりますので、よろしくお願いします。

お申し込みは「[有料ガイド申込先](#)」からできます。



●ガイド料：

個人一般・私的なグループ＝１０，０００円、旅行会社等＝１５，０００円

（参加者１５名につき１名のガイドが基準で、少人数でもこの料金となります。ガイド料は、[森の保全活動](#)のために使われます）

ガイド利用の場合、協力金はガイド料に含まれています。

★奥びわ湖 ・ 山門水源の森は滋賀県北部の長浜市西浅井町 山門（やまかど）にあります。かつては山門、中、庄の３集落の共有林で、炭や薪を作るために利用されてきた里山です。（上の荘の森）

１９９６年から県有林となっています。里山の森に囲まれて、滋賀県内最大級の湿原があり、特徴ある生態系が広がっています。面積は約６３．５ha あり、その中の湿原は約５．６ha です。森の面積は、長浜市の森林面積の０．００２パーセントにあたります。標高は、登山口で２２６m、守護岩（頂上部）で５２０mあり、その差は２９４mです。

◎水源の森１００選「５９ 上の荘の森」（林野庁）

◎日本重要湿地５００《生物多様性の観点から重要度の高い湿地（略称「重要湿地」）》（環境省）

◎水源涵養保安林（滋賀県）

◎ミツガシワ等生育地保護区（県条例）

◎３０by３０「自然共生サイト」「奥びわ湖・山門水源の森」（環境省）

（★からここまで高橋明代追記）

５．二上山の産廃問題 （奈良労山より情報あり）

産廃中間処理施設のため、水質問題および自然破壊・景観問題が起きている。

水質問題：２０１８年、水田の稲が育たなくなった

景観問題：中間処理なのに産業廃棄物の山が大きなピラミッドとなっている。

2025 年国民平和大行進

今年の平和行進も暑い中、八日間の大阪幹線コースを元気に歩くことができました。今年の平和行進は、大阪原水協の平和行進の方針として「その日の最高気温 35 度を超える予報が出れば、午後の行進は中止とする、各市役所での集会は予定通り行う」と連絡があり、今までとは違った異常気象のなかの平和行進となりました。大阪労山の平和行進の参加者は 69 名 (昨年は 80 名) でした。この八日間の各担当者、参加者の OWAF メーリング、ラインからの熱い報告をお読みください。ちなみに、今年も安部治 (COWAC) さんは暑い中 8 日間、全コース (中止になったコースを含む) を歩かれました。また、浜田敏彦さん (くまごろう)、笠井ふみ子は連日のように多くのコースを歩かれました。また、澤村秋則さんは奈良コースを 1 日、園さんは兵庫コースを 2 日間歩かれています。素晴らしい行動力です。

【平和行進・奈良コース：6 月 26 日 (木)】

澤村です。6 月はまだ涼しいので奈良の平和行進に一日行きます。古都もお気に入りですから。去年までは般若寺で京都との引継ぎでしたが、事情あり、浄水場に変更されました。26 日 10 時ごろ、奈良も豪雨でしたのでバスを使いました。奈良の前さんなどと出発式に参加しましたが、猛暑のため行進は中止になりました。それでも多くの参加者が奈良県庁に向け歩きました。

【平和行進・幹線コース：6 月 30 日 (月)】

柏原市役所 (大和川河川敷) → 曙川公園 → 桜ヶ丘公園 → 岩田公園

6 月 30 日、1 日目担当八尾山の会笠井です。11 時 20 分から柏原市役所横の大和川敷で集会が始まりました (集会時 120~130 名)。参加クラブ：このはな 2 名、くまごろう 1 名、きたろう 1 名、八尾 6 名 (内 3 名集会のみ)、COWAC 1 名、大阪スキーハイキング 1 名、志峰会 2 名、元安治川 1 名…計 15 名。

奈良平和実行委員会より引き継ぎ集会 11 時 55 分、行進出発、行進出発時 100 名程、この時の気温が既に 40 度。13 時 20 分、曙川公園で休憩、13 時 30 分出発。14 時 40 分、桜ヶ丘公園に到着、休憩、集会 (この公園に着く前、温度計気温 45℃異常)。15 時 10 分出発、一気に行進者が減り 40 名位だった。16 時 15 分東大阪市岩田公園到着、集会、解散 (冷たいおしぼりと色んな飲み物接待有り)。ゴールまでの参加：志峰会 1・COWA1・八尾山の会 2 計 4 名。猛暑の中でしたが時折気持ちのいい風と湿気も無かったのが幸いでした。今年は沿道の人々の応援の笑顔に救われました。

*今年の猛暑は異常です。熱中対策は慎重に行ってください。決して無理のない行進を。

*今年から行事スポット共済保険に加入しています。参加者の方は必ず署名してください

*来年度より 6 月 24 日~7 月 7 日に。行進は午前中のみ 6 月 30 日の奈良県連の引き継ぎは変わらず。コース時間等は来年決定と報告有り。

【平和行進・幹線コース：7月1日（火）】

河内長野市役所→富田林市立多文化共生人権プラザ→羽曳野市役所→藤井寺市役所→松原市役所

平和と登山担当の大西清見です。7月1日（火）の平和行進は河内長野市役所～羽曳野市役所～藤井寺市役所～松原市役所のコースでした。労山からの参加者は安部さん、村崎さん、浜田さん（くまごろう）、麻野さん（大阪スキー）でした。大阪原水協の平和行進の方針として「その日の最高気温 35 度を超える予報が出れば、午後の行進は中止とする、各市役所での集会は予定通り行う」と連絡があり、1日は最高気温 35 度を超える予報が出ましたので羽曳野市役所からの行進は中止となりました。藤井寺市役所、松原市役所では集会が行われたそうです。ちなみに COWAC の安部さんは一人羽曳野市役所から松原市役所まで歩かれたそうです。凄い、素晴らしい。

以下、大西宛に送信されました辻本さん・佐藤さん（雑木）、村崎さん（ぼっぼ）のメールをお送りします。

雑木の会・辻本美津子です。本日 7 月 1 日に羽曳野市役所から松原市役所まで参加しようと 14 時 10 分頃に羽曳野市役所に行きましたら、ちょうど演説が終わろうとしているところでした。藤井寺市役所までの歩きでの移動は酷暑のためか中止になったようで、労山の会員の方も分からず、歩かずにそのまま帰ってきました。

辻本様

佐藤三枝子です。行進中止は残念でしたが、平和行進イベントにご参加お疲れさまでした。ご自宅から羽曳野市役所往復だけでも大変な暑さだった事と思います。今日の大阪の最高気温は、35℃を上回ったそうです、主催者側の賢明なご判断かと思います。

村崎です。7月1日火曜日は河内長野市役所に安部さんと村崎が集いました。村崎は汐の宮公園で解散、安部さんは一人で最後の若江岩田迄歩き続けてました。凄い…。河内長野市役所前集会では酷暑が続くので安全対策として、午後からは、予定の時刻に集会だけでデモ行進は行わないと説明がありました。

【平和行進・幹線コース：7月2日（水）】

泉佐野市役所→住吉神社→貝塚市役所→岸和田市役所→忠岡町役場→和泉市役所

平和と登山担当の大西清見です。7月2日（水）の平和行進は泉佐野市役所～貝塚市役所～岸和田市役所～忠岡町役場～和泉市役所のコースでした。

労山からの参加者は安部さん、澤村さん、浜田さん（くまごろう）、大西でした。大阪原水協の平和行進の方針通り（その日の最高気温 35 度を超える予報が出れば、午後の行進は中止とする、各市役所での集会は予定通り行う）、2日は最高気温 35 度を超える予報が出ましたので岸和田市役所からの行進は中止となりました。忠岡町役場では集会が行われ、COWAC の安部さんは和泉市佐野役所からずっと一人忠岡まで歩かれてこられました。忠岡では 15：30 分～15：50 集会、そのあと安部さんは和泉市役所（和泉府中駅）まで歩かれるのでご一緒させていただきました。皆さん一日お疲れ様でした。

【平和行進・幹線コース：7月3日（木）】

和泉市役所→泉大津市役所→高石市役所→浜寺公園→石津太神社→みみはら地域コミュニティ棟→堺市役所

7月3日（木）の平和行進は和泉市役所～泉大津市役所～高石田市役所～浜寺公園～堺市役所のコースでした。労山からの参加者は安部さん、澤村さん、浜田さん（くまごろう）、大西（清見・博美）、佐藤俊さん（雑木）、笠井さん、太田さん（八尾）でした。大阪原水協の平和行進の方針通り（その日の最高気温 35 度を超える予報が出れば、午後の行進は中止とする、各市役所での集会は予定通り行う）、3 日の浜寺公園では最高気温 37 度を超えていましたので浜寺公園からの行進は中止となりました。和泉市役所から高石市役所まで、安部さんと佐藤さんが歩いてこれ、お二人とも笑顔で挨拶をしていただき良かったです。高石から浜寺公園までは労山 4 名で、全体では約 30 名で行進、垂れ幕の「核兵器も戦争もない平和な世界を」「平和がいちばん」が浜風になびいていました。14 時～浜寺公園で集会（参加者 90 名）、そのあとの行進は中止でしたが、安部さん、笠井さん、太田さんの 3 人は堺市役所までのいつものコースを歩いていきました。今日も暑い一日、頑張って歩きました。お疲れ様でした。

追記（笠井）

雑木の佐藤さんも私達と一緒に堺まで歩きましたよ。浜寺公園から堺までは 4 人。最終集会には 110 名集まりました。明日も大阪城までは間違いなく行進は有りますがそれ以降は気温が 35℃以上なら中止になります



高石市役所～浜寺公園へ



「平和と登山」の幟も浜風になびく

【平和行進・幹線コース：7月4日（金）】

住吉区役所→あべのベルタ西側公園→大阪城・教育塔前→大阪地方裁判所前・公園→南森町→都島区役所→都島本通→赤川1→旭区役所・大宮南公園

笠井です。7/4 平和行進の報告です。参加者は、COWAC 安部さん、くまごろう浜田さん、ハイジ増田さん、八尾山の会笠井、兵庫宝塚山の会中原さん、元安治川入沢さん。大阪城教育塔前の休憩場所で気温が 35℃を越したので午後からの行進は中止となりました。集会

終了後、安部さんと笠井は最後までいつものコース通り歩きました。安部さんは住吉から通して歩かれました。午後からの各休憩所には宣伝カーが待機して来た人に中止の案内をしていました。せっかく来たのにと参加者から怒られた場面も有ったようです。入澤さんも都島区役所休憩所に来て中止と知り、せっかく来たからと大宮南公園まで歩きました。本当に今年の気温は異常です。平和行進もいよいよラストスパートに入ってきました。7日まで参加の皆さん体調に気を付けて無理せず歩ける範囲で参加しましょうね。

【平和行進・幹線コース：7月5日（土）】

守口市役所→門真市役所→友呂岐公園→寝屋川市役所→成田山不動尊→香里団地→枚方市役所

5日担当・きたろう園です。守口市役所～門真市役所～寝屋川市役所～成田山不動尊～枚方市役所コースの報告です。労山の参加者は、八尾・笠井さん、くまごろう・浜田さん、つりばし・藤さん、COWAC・安部さん、このはな・志鎌さん、ぼっぼ・村崎さん、きたろう・園、門真市役所からはハイジ・柏原さん、寝屋川からきたろう・朝倉さん、香里ヶ丘スーパーからきたろう・石野(明)さん、松本(正)さん 計11名の参加でした。

守口市役所出発時は100名余の参加者、門真から20名ほど参加が増えました。時折涼しい風も吹き抜ける所もありましたが、10時を過ぎたところから気温も上がり寝屋川からのスタート時には、大幅にリタイヤが増え40名ほどの行進となりました。17時に枚方市役所前で集会后を解散。労山の完走者は笠井さん、安部さんの2名。大阪国際大学の学生や、小さな子供たちの声援が行進の励みとなりました。担当園は、寝屋川市役所でリタイヤした。

【平和行進・幹線コース：7月6日（日）】

高槻市役所→総持寺団地→茨木市役所→摂津市役所→吹田市役所

6日担当：八尾山の会笠井です。高槻市役所～総持寺団地～茨木市役所～摂津市役所～吹田市役所、参加者：くまごろう・浜田さん、ぼっぼ・村崎さん、きたろう・田中さん、高槻・篠原(夫さん)、吹田・佐伯さん、COWAC・安部さん、大阪スキー・麻野さん、八尾・笠井、元安治川・入澤さん、元吹田・堀さん、元高槻・織部さん、計11名の参加。

高槻市役所で出発時150名参加、「やくそくのうた」を全員で歌ってから出発しました。今日は日曜日なので元気に行進する子供達も一緒に歩き元気を貰いました。茨木市役所までは隊列を前後二つに分けて行進、午後からは一気に50名位に減りました。茨木市役所から車椅子で参加の方が居て行進の途中で「この猛暑でアスファルトの照り返しで大変ですね」と声掛けしたら「私は座ってるだけなので…」と反対に励まされました。猛暑も吹っ飛ばうような出来事でした。

摂津市役所の手前的高架下で臨時の休憩集会をして市役所には寄りませんでした。17時に吹田市役所前で集会后解散(集会時80名位?)。沿道の声援応援、休憩の度にギター片手に平和の歌を歌ってくれる等、他にも色々有り本当に楽しい行進でした。労山完走者は、阿部さん、佐伯さん、笠井の3名。いよいよ明日午前中で最後です、平日ですが1人でも多く参加して兵庫県連に平和のバトンを繋ぎましょう

本日参加の皆さん本当に猛暑の中お疲れさまでした

【平和行進・幹線コース：7月7日（月）】

豊中市役所→池田市役所→兵庫県・川西市役所

7日担当の園です。豊中市役所～池田市役所～川西市役所。参加者は、くまごろう・浜田さん、COWAC・安部さん、大阪スキーハイク・麻野さん、八尾山の会・笠井さん、元八尾・

鍛冶さん、大阪志峰会・中尾さん、きたろう・園、計7名、プラスこもれびの故佐々木雅博氏夫人が池田市役所でお出迎えしてくださいました。

豊中市役所を約130名でスタート、池田までは長く、頑張っただけという声援に励まされながらも、豊中駅、蛍池、石橋で、猛暑のためリタイヤの方が有り、また石橋駅前を過ぎた所で、40代位の男性が、突然熱中症で倒れるアクシデントもあるなど、猛暑の中池田市役所に、箕面の網の目行進組と合流して到着。佐々木氏の写真と夫人が出迎えてくれ記念写真をパチリ、池田からは行進参加者が増え150人ぐらいで川西市役所へ。川西市役所で兵庫県連と引き継ぎ。全国連盟ののぼりは無かったが。全員で記念写真を撮って交流しました。

【平和行進・兵庫コース：7月8日（火）】

尼崎市役所～三和商店街～阪神尼崎駅 大阪労山の参加 園1名 雨模様のため全体で60名ほどの参加者でした。

【平和行進・兵庫コース：7月9日（水）】

尼崎市役所～(阪神武庫川駅北)武庫川左岸広場で西宮コースと引き継ぎ、同じく園1名が参加。天気よく涼しい風も吹き約120名ほどの参加でした。

2025年国民平和行進に参加して 八尾山の会・笠井ふみ子**

今年は戦後被爆80年の年に当たり、核兵器廃絶と世界平和を願って5月6日東京をスタートし6月中旬頃近畿に入り6月30日奈良県連から引き継がれ柏原市役所前の大和川河川敷で集会後行進しました。今年は全国の通し行進者は居ませんでした。平日だからかも知れないがいつもより参加者が少なく感じる(集会時120～130名、出発時100名程)今年度から変わったことは・・・気温が35℃以上になったら午後からの行進は中止(2025年度7/1・2・3・4午後中止)行事スポット共済保険に加入した(参加者は必ず署名すること)とにかく今年の暑さは異常でした。行進は中止になっても自主に任せて私も大阪府下8日間のうち6日間午後コース通り最後まで歩くことが出来ました。

(COWAC 安部さんは毎年大阪府下全地域8日間歩き続けています本当に凄い！！)

参加者の中に車いすの方が居て、アスファルトの照り返しで大変ですねと声かけしたら、「いいえ私は座っているだけなので、、」と反対に励まされました。猛暑も吹っ飛ばすような出来事でした。

日曜日に当たったコースでは子供たちの参加も有り楽しく一緒に行進する事が出来ました。池田市役所では佐々木さんの写真と奥さんが行進を出迎えてくれ一緒に「平和と登山」の幟と一緒に記念写真に収まりました。家の窓から顔出す方や沿道の方の温かい応援声援に精一杯のアピールをしました。今回も40代位の男性が熱中症で倒れるアクシデント、行進に参加した人が午後の中止の件を知らずスタッフに怒ったり、宣伝カーがエンスト起こし何人かで押したりと色々有りましたが最後の川西市役所で無事兵庫県連に引き継ぎすることが出来ました。参加者も年々高齢化しています私もいつまで続くか分かりませんが平和を願ってこれからも歩き続けたいと思います

北海道 幌尻岳・十勝岳・雌阿寒岳 報告

アウトドアオールラウンダーズ 大見

2025 年 6/30 から 7/6 の日程で、3つの会合同で北海道の3つの山を登りました。

■幌尻岳（アイヌ語でポロシリ；大きい山の意）
 昼からの雨予想。小屋前の急坂を急ぐ。森林限界を越えるときれいなお花畑。降雨前に頂上着。
 20回にわたる徒渉と長い林道歩きが難点。

コースタイム （花の写真はQRコードを参照）
 7/1 9:10 バス停（第2ゲート）11:40 取水口
 沢靴に履き替え 12:00 発 14:40 幌尻山荘
 7/2 4:00 出発 8:05 幌尻岳 9:30 命の水
 11:20 幌尻山荘着 沢靴に履き替え 12:10 発
 13:20 取水口 13:40 発 16:30 バス停



■十勝岳

今日も昼からの雨予想。避難小屋を過ぎた辺りからカップを着用。霧に包まれ硫黄臭の中、最後の急登を登り頂上へ。陽射の中の登山も辛い、晴れていればきっと眺めは最高だったのでは。

コースタイム
 7/4 5:15 白銀荘発 6:55-7:04 十勝岳避難小屋
 9:33-10:00 十勝岳
 11:40-12:04 十勝岳避難小屋 白銀荘着 13:30



■雌阿寒岳（アイヌ語でポンマチネシリ；小さい女山）

野中温泉から登山開始。親子連れが結構多い。
 ずっと雨だったが、久しぶりの晴れ！眺め良し！
 噴煙を上げる火口も壮大！北海道の広さを満喫！

コースタイム （壮大な景色はQRコードを参照）
 7/6 7:36 雌阿寒温泉登山口 10:45 雌阿寒岳
 13:48 登山口



当初予定の行程は以下の通り。

6/30 (月)	千歳空港トヨタレンタカー窓口 14:00 集合（バスで店舗に移動）14:45 出発、途中買い出し 18:00 とよぬか山荘泊
7/1 (火)	8:00 シャトルバス出発-->10:30 出発→14:30 幌尻山荘泊（4時間）
7/2 (水)	4:00 出発-->8:30 ホロシリピーク-->15:00（11時間）17:00 のシャトルバス とよぬか山荘泊
7/3 (木)	休息日 移動のみ 食料買い出し 富良野駅でIさんとNさんをピックアップ、吹上温泉の白銀荘泊
7/4 (金)	出発 7:00→14:00 下山（十勝岳 7時間）上富良野のペンション じょう舎泊
7/5 (土)	移動日 9:00 出発 13:00 移動 250km4時間 途中で食料買い出し、オンネトー国設キャンプ場泊
7/6 (日)	8:00 出発→13時下山（ポンマチネシリ往復 5時間）屈斜路原野 YH 泊
7/7 (月)	15:35 の関空行きピーチ 14:00 札幌行き JAL（乗り継ぎ）などで帰阪

懸垂下降の安全性をさらに高めたい 3

OWCC 中川和道 20250717

前回の論考では、データを表にして論じたが、「表でなくグラフで。それと、もっといいに書いてほしい」との声をいただいた。ありがとう。努力してみます。

図1は、懸垂開始点 $h=0$ から時刻 $t=0$ 速度 $v=0$ で空中の懸垂下降を始めたクライマー(質量 m) が、 h m 下降した地点での速度 v を h の関数 $v(h)$ としてプロットしたグラフである。図1では、クライマーは、下降器に時間一定の制動力 f をかけると仮定する。すると重力加速度 g は、みかけの重力加速度 g' に減少できるから、下降する速度は自由落下の場合より遅くできる。制動器のロープを握らずに自由落下した場合($g'=1.0g$)の速度を■印で示す。5m 下降したら速度は 10 m/秒すなわち時速 36 km/時に達する。時速 36 km/時で走行するバイクから突然投げ出された人をロープでうまく制動して停めるのが確保である。危険で困難である。ロープ長さ 50 m を自由落下しようものなら、秒速 31.3 m/秒すなわち時速 113km/時にもなってしまう。

私たちが懸垂で実際にやっていることは、自由落下ではない。ぐっと握って見かけの重力加速度 g' をきわめて小さくして下降を開始する。速度はだんだん大きくなる(図1)。速度が 3 m/秒くらいになったらぐっと握ってほとんど停まり($v \approx 0$)、安全が確認できたら、少しゆるめ、また下降していく、これを繰り返しているのである(前回 86 の図2参照)。

図2に下降速度 $v=3$ m/秒を破線 --- で示した。制動力ゼロの $g'=1.0g$ から制動力を次第に強めて、 $1.0g \rightarrow 0.7g \rightarrow 0.5g \rightarrow 0.3g$ と強めていくと、下降速度 $v=3$ m/秒に達する下降距離は、 $0.5m \rightarrow 0.7m \rightarrow 1m \rightarrow 2m$ と増大する。図2の結果から考えると、中くらいの制動をかけ、1mから2m下降し、ぐっと停まる、安全を確認し、制動を緩め、再び下降に移る、これを繰り返すのがよい、との結論となる。このとき、ショックをどう除去するかが要検討ポイントだ。

百丈やぐらでこの論考を確かめる実験のプロトコルをどう立案するか、次号で考えていこう。(つづく)

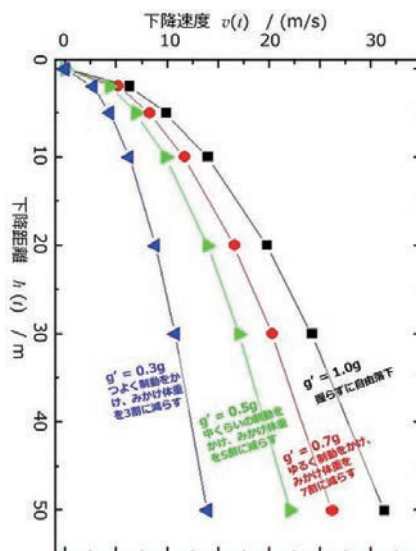


図1. 懸垂下降の下降距離 h と速度 v の関係。

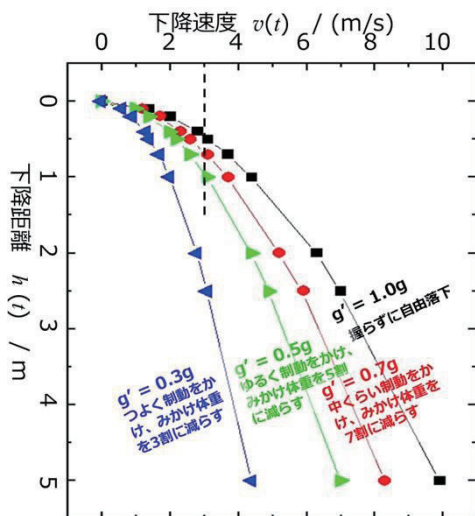


図2. 図1の始まりの部分拡大。

支援の輪 第一弾 能登半島輪島市災害支援活動と別所岳

雑木の会 佐藤 俊明

- ・活動日 2025 年 6 月 21 日（土）
- ・支援先 石川県輪島市災害たすけあいセンター
- ・参加者 佐藤俊明・佐藤三枝子（雑木の会）、大見則親（OAR）、近藤和代（白峰山の会）、高桑昭夫（きたろう HC）、北川功（ももんが山岳会）、下窪義文（つりばし）

6 月 21 日(土)

のと里山海道も終点に近いころ、異様な横ブレに思わず、えっ居眠りっ、と、思わず身構える、続けて少しフワーとした上下動、「ゴメン」といって後ろの人達に気遣いを見せる運転者。

夜明けの気配がする道路に凸凹箇所が多くなる、無理やりつなぎ合わせたような、道路を注意深く進むが、更にそれが大きく波打ち、その災害の大きさと、兎に角ライフライン復旧を優先させざるを得ない現状が見える。

指定のボランティア集合会場着は、集合時刻の 4 時間前、揺れの無い車で少し仮眠と思ったものの、去年の元日「テレビは見なくていいです、早く逃げて下さい」と、衝撃的だった生放送から、1 年半の時を経ても未だ復旧半ばと報道される輪島港は目と鼻の先、仮眠は後にと先ずは視察へと向かう。

立ち入り禁止と書かれた港の設備や岸壁にひび割れと陥没、隆起したと思われる大きな岩や土の塊を片付ける作業が今日も始まるのであろう、沢山の重機や土砂運搬用のトラックが駐車されていた。

港に向けて 2 棟並んで立つ新しい大きなホテルは工事用みたいな塀で囲われている、見ていると何か自分の眼がおかしい、よく見ればわずかに傾いている。

輪島朝市と書かれた石標の近くには傾いた家屋が残り、かつて老いた婦人たちが店を広げていた石畳の通りは傾いて残された家屋や更地となった間を抜けている、焼けた電線が巻き付いた電柱が立つ、どんなに恐ろしかったことだろうか。

集合会場に戻れば、開始のオリエンテーション、挙手によるチーム分けの後、大まかな作業内容説明、選任なのかボランティアリーダーのシンプルで効率の良い進行は、阪神淡路大地震以来、味わいたくない経験を幾度も重ね、活動を全国に展開しながら成長させてきた結果なのだろう。

活動先への移動(車)はセンター準備の車貸与、確認は免許証の提示とアルコールチェックだけで、ボランティアがキーを受け取り、広い駐車場の中からその車を探し現場に向かうという全幅信頼型のなんと効率的な事だろうか。

依頼者の個人情報とプライバシーの保護と尊厳を尊重する、知らぬ者同士が共同で活動するボランティアメンバーの名簿扱いについての注意喚起、作業する上で判断に迷うことは、依頼者ではなくボランティアセンターに判断を求める、良かれとばかりの自己判断を慎む事等、独走暴走の歯止めを肝と捉えた見事な説明。

私達7名は、軽トラ2台と軽バン1台に分乗して少し遠い門前町へ、任務は傾いてしまった離れを解体する前に中の家財類を母屋と倉庫に移動させるというもの。

中でも大物は、家庭用冷蔵庫の2倍以上もあろうかという保冷库、さすがにこれには戸惑ってしまうが、リーダーはじめメンバー、7人寄れば文殊の・・・と、ばかりに、手際よく毛布、テコ、コロ、大型コンパネ等々使えるものを利用、まるで保冷库を要救出者に見立て搬出技術を駆使するかのように見事に移動してしまう。

次いで2階からの狭い階段が通過できない大型の机を毛布とロープでビレーしながら、窓からロアーダウンとこちらも見事にその術を駆使して移動、後は手渡しリレーと行ったり来たりの人海戦術で何とか格好がついた感じだ。

依頼者さんが無用という家具、道具類は軽トラ往復を含め計3台分を分別廃棄所へ移動、出発前のチーム分けでオリエンテーションリーダーから「おおさかさん・ろ・う・や・ま？」と、呼ばれたチーム7名は見事なチームワークで約6時間、ミッション完了。

お別れの際、少し老いた依頼女性さんと女性メンバーがハグ、「ありがとうまた遊びに来てね」と涙目で別れを惜しむ姿に、作業完了でホットしたこちらも慌てて上を向く、危うい所だった。

解散のオリエンテーションでは、これほど多くの人(ボランティア)がいたのかと思うほど、私たちのようにチームで来た人々、それぞれ個人で参加した人も俄かグループで力を併せ、老いも若きも、知らぬ者同士も力を合わせれば、目的を同じくした者たちだけがお互いの信頼とそれに応えようとする心意気が今日の成果だったのだらうな～と、しみじみ。

同行した女性メンバーさんから「応募はしたけど、私に何が出来るんだろうと少し悩んだりしたけど、やっぱり来てよかった」と、感慨のこもった一言。

又、明日どうしても外せない仕事があるからと、今からひとりでトンボ返りするというリーダーにお疲れ様と帰路の安全を祈りながらお別れし残留組はテント場へ移動した。

6月22日(日) 別所岳(七尾市)視察ハイク

復興支援活動の翌日、被災地で物見遊山てきな行動は疎まれるのを承知しながら、被災後の山事情現地視察と富山湾を跨ぎ立山の峰々を眺めようと支援活動の帰路計画に織り込んだ。

山腹には、のと里山海街道が走る、登山路近くの等高線が広がった辺りに水田記号がいくつも記されている、その現況をと目で追うも田んぼの存在すら確かめる事は出来なかった。

登山道のそこかしこにもやはり段差や亀裂、波打つ道、そして崩れた擁壁や土砂に塞がれるところが幾か所がある。

かつては養蚕が行われたのであろうか路傍に茂る幾本かの桑の木には小振りだが無数の実が生っていた、よく熟れた黒い実を口に含むとこの味この味、少し先に今度はぐみの木に鈴なりに実が付いている、これは赤い熟れた実を口に含むとやはり子供の頃のあの懐かしい味が口中に広がり子供の頃の味覚「この味」がよみがえる。

名は思い出せないが幼いころ生活圏にいくらかでも咲いていたヨツバシオガマに似た花芯を指でつまんで付け根を吸うとこれも又、「この味」だったと、遠い昔の故郷を思い出しながら緩い坂道を登る。

やがて傾斜が落ちる頃、開いたばかりの笹百合に迎えられそのすぐ先に三角点と別所岳頂上標識、目の前には七尾湾に浮かぶ能登島、その先に期待した立山、後立山は霞んだ先にぼんやりとした山並みとなり判別は叶わなかった。

広場のような頂きには、びっしりと実をつけたサクラの木が幾本も、訪れた人々はまさかこんな爪痕を残されるともつゆ知らず、花間から立山を眺めながら平穩に宴を楽しんだこともあったのだろう、屈託なく過ごした幼い故郷の思いを重ねながら僅か 2 km、標高差約 100m を約 2 時間かけてゆっくり往復した。

【参加者の感想】

■近藤和代(白峰山の会)

今回、輪島の災害ボランティアに参加して、復旧の遅れを非常に感じました。

取り敢えず、ライフラインだけ復旧させた後は手が付けられないままのほったらかし感を感じました。ボランティア先のお宅も後片付けが自分達だけでは出来ず、ボランティアさんの手を借りてやっとのようでした。

元々は一部損壊だったのが、1年半で半壊まで進んだとの事でした。

今回のボランティア先のお宅の方がとっても良い方で、沢山のお話も聞かせてもらえたり、交流も出来て良かったです。

■高桑昭夫(きたろう HC)

正月早々にテレビ映像などで、『遠い地で大変なことが起こって気の毒やなあ』と思っていました。大変なのはニュースでも感じられますが、1年半経っても阪神淡路大震災を経

験したものとしてはあまりにもその復興というか、現状変化が遅れている感は拭えないと目の当たりにしました。支援先の輪島市街の道路も凸凹のままです。この地域では、目立つ中層のホテルも傾いたままです。輪島に至る、のと里山海道ではいくつもの橋が崩落したままです。

支援活動は一般家屋の一部撤去に伴う家財移動などです。その中で、前支援者が出来なかった大型の保冷庫の移動を我々のチームワークで難なく移動できたのは、ちょっと自慢したい作業でした。

支援活動翌日に、標高 358m の別所岳に登りました。倒木や崖崩れなど登山道は荒れたままです。ライフラインが確立するまでは仕方ないことと思います。しかし、不謹慎ですがこの時期のこの山は、グミの実、桑の実、サクランボが甘く食べ放題でした。復興した時にはもう一度、食べ放題の山に登りたいです。

■佐藤三枝子（雑木の会）

2024 年元旦に発生した能登半島地震から 1 年半 復興を応援したいーそんな思いを胸に参加致しました。1 年以上経っても時が動いていないように感じました。

多くのボランティアが駆け付けていることに感動するとともに、私ももっと関心を持たなければと感じさせられた。

■佐藤俊明（雑木の会）

作業終了引上げ時、少し老いた支援依頼者が「また来てねー」と参加メンバーとハグ、今日の出会いと別れに顔を熱くして惜しんでいたのがとても印象的だった。

心のケアの重要性と、その取組状況は度々報道でもされているが、労務提供による支援も必要としているが、心の支援も重要なことを目の当たりにした思いだった。

■北川功（ももんが山岳会）

災害ボランティアに参加するのは初めてでしたが、手持ちのウェアやバックパック、登山靴、ヘルメットをそのまま持つていくことで新たに装備を買いそろえることはありませんでした。「災害現場ではゴム長靴よりも登山靴のほうが役に立つ」と聞いていましたが、その通りだと思いました。この点は山ヤの強みだと思います。

今回は独居の高齢女性のお宅の家財道具を運び出す作業でしたが、時間が限られていたこともあり完全に片付いたとは言い難く、未達成の感は否めません。家財道具は要るか要らないかを依頼者に確認しながら整理していきましたが、依頼者にとっては一つ一つに家族との思い出があり、それを聞くことも私たちの役目の内なのかなと思いました。もっと効率的に作業をするべきなのかもしれませんが、こういう気持ちの部分も大事なのだろうと思います。

■下窪義文（つりばし）

もっと早く支援活動を企画できなかったのか自身反省しています。

1 年半が経つこの日も全国から、社会団体、学生団体、個人のボランティア含めて 150 人以上が集まりました。市内では 800 世帯の仮設住宅で不自由な生活しています。

電柱は傾きまだまだインフラが復旧されていません。少しでも力になればと企画します。活動に参加すること力なり。



21日の支援活動
大型冷蔵庫を倉庫へ移動



依頼者宅で集合写真



22日 別所岳ハイキング (七尾市)



22日 さと能登海道 SA からハイキング



軽トラックで集積場へ ⇒

第5回 全国救助技術交流集会 報告 組織部 下窪義文

全国連盟主催の救助技術交流集会に参加しました。

・とき 7月5日～6日(土日)

・ところ 神戸市立神戸セミナーハウス セミナー館(大セミナー室)

・参加者 全国連盟川嶋理事長 石川遭対部長 遭対部員8名 北海道・宮城・福島・千葉
愛知・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫・岡山・広島・香川・愛媛・長崎 49名

(7/5 土) 13:00～川嶋理事長の挨拶

13:10～石川遭対部長から過去 10 年間の事故件数の報告では事故件数が増えています。

- ① 事故者数——2020 年コロナ過では 236 件で、2023 年は 366 名と一番多くなっている。
- ② 死亡行方不明——2015 年は 12 名、2024 年は7名。
- ③ 2024 年代男女別——50～60 代が多く 178 人/365 人中、女性が 204 人。
- ④ 同年事故時間帯——10時代で 39 人、11 時代 36 人、12 時代 42 人、13 時代 56 人。
- ⑤ 同年形態別事故者——無積雪期が 200 人、登攀 50、沢登 36、積雪期 25、山スキ- 15
- ⑥ 同年事故の原因者数一転倒 155 人で42%、転・滑落 96 人、虫動物 42、病気 10、
落石 8、高度障害 3、凍傷 6、道迷い 2、低体温0、雪崩0 となっている。
- ⑦ 同年連盟別事故者数——東京都 73 人、兵庫県 34、北海道 22、神奈川 22 人

13:50～基調報告:山岳遭難事故早期解決のために(オーセンティックジャパン 八木澤)

- ・山岳遭難 捜索・救助の現状とココヘリ・発見・位置情報をヘリやドローンから大幅に短縮
- ・捜索・救助活動長期化2つのリスク 2つのタイムリミット 72 時間(3 日)を過ぎると生存者が著しく低下する。78 時間(4～7 日間)で公的機関の捜索が打ち切られます。
公的捜索打ち切り後。長期的捜索組織に依頼
- ・経済的リスク 多額の捜索を投じてでも発見されない場合。遭難者は失踪者として扱われ、
死亡認定されるまで7年間。生命保険が受け取れない。勤務先から解雇、退職金がもらえない。住宅ローンの支払いを続けなくてはならない。
- ・ココヘリ サービスの概要
会員の山岳遭難時 初期捜索活動及び二次捜索(公的機関の捜索打ち切り以降)活動
(役務)を年間55万円まで提供します。

16:00～各県連からの報告

- ① 道央連盟救助隊沢搬出の報告 北海道一花岡・白石
事故発生 2023 年 8 月 13 日 15:10 日高山系ヌビナイ川エリア 6名パーティー
事項者 50 代女性 雨天によるエスケープルートの尾根歩き下降中に滑落
- ② 倉敷ハイキングクラブ 広戸仙登山中の滑落事故報告 2025 年 5 月 3 日 11:46
ふるさとコースのシャクナゲ滝を過ぎた傾斜地登山道から40m下の沢に転落

(7/6 日) 9:00～搬送技術 (ザイル担架の使い方)

数人に分かれて担架の作り方の実演を行った。1)末端を1～2m残し4つほどループを作る。2)ループの中をぐらして編む。肩、腰あたりは止め結びを数か所作る。末端は止め結びを数か所必要。

第2回 百名山の輪 白山 報告者 下窪義文

○とき 7月11～12日(土日)
○山城 石川県白山市 白山 1786m)
○参加者 CL 下窪義文(つりばし)、
佐藤俊明(雑木の会)
薦田薫(八尾山の会)
柏原(女性ハイキングクラブハイジ)
○集合:7/11(金)21:00JP 大阪タワー前

【コースタイム】

7/12(土)
市ノ瀬ビジターセンター⇒シャトルバス⇒別当出合
出合 6:20～甚之助避難小屋 9:25～南竜山荘
10:45～南竜ケ馬場キャンプ場テント設営
11:37 発～エコーラインコース～室堂 13:00～
白山御前峰 14:34～御池巡り～室堂 16:10～
黒ボコ岩 17:03～南竜ケ馬場キャンプ地 18:26
行動 12 時間 距離 14.2km

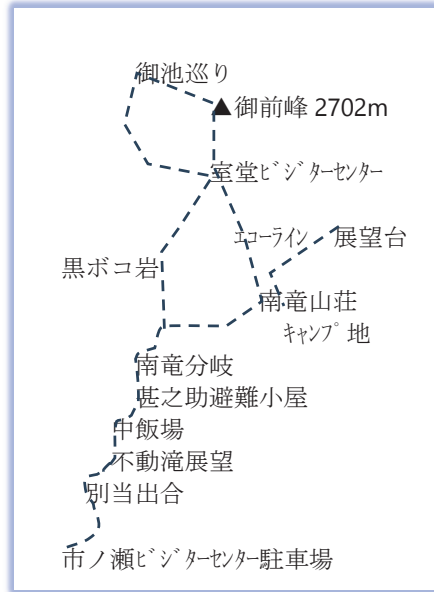
7/13(日)

キャンプ地 3:47～展望歩道展望台 4:40～キャンプ地
5:46 テント撤収 7:23～甚之助避難小屋 8:11～別当
出合登山口 10:26 シャトルバスで市ノ瀬⇒白峰温泉
入浴⇒帰阪 17:40大阪着

【参加者の感想】

○**柏原庸子** (女性ハイキングクラブ ハイジ)
初めて登った白山はお花畑の天国のように美しい山でした。整備された登山道を歩き始めると足元や横の斜面に次から次へと新しい花が現れてくれます。小さく可憐な花や、大きくて気品にあふれた花など本当にたくさんの花たちが出迎えてくれました。私は花の名前をあまり知りませんでした。一緒に登った佐藤さんがとても詳しくご存知で、まるでガイドさんのように説明してくださいました。長い道のりも花に癒やされながらの楽しい時間でした。

もう一つ感激した事は雪の多さでした。テント場の近くも雪渓があり、持ってきた飲物を冷やすのに有効活用する事も、他のクラブの方から教えていただきました。室堂への道ではアイゼンを履きロープで体を繋いで登る場所が



あり緊張しましたが、これも佐藤さんに上手にリードして頂き、安全に登り切ることが出来ました。感謝です。ゴールには「ニッコウキスゲ」の群生があり感激ひとしおでした。室堂でひと休みした後は一気に山頂まで登りました。2702mの御前峰 360°の大パノラマは本当に素晴らしかったです。その後は御池巡りをしながら下山しました。透き通った雪解け水の水面は群青色や翠で、とても美しかったです。場所によっては山と青空を映し出しでいました。お天気に恵まれたからこそ、美しい景色や花々に出会えたのだと感謝しながら下山しました。

夕食はチーズフォンデュが共同食でした。長いフランスパンやウインナーソーセージやチーズ等などたくさんの食材を1人で持ってくれた薦田さんありがとうございます。分担すれば良かったと反省です。下窪さんの竹輪きゅうり詰めも塩味が効いて美味しかったです。話が盛り上がり時間がたつのも忘れてしまいました。お隣テントからの「お静かに」の一言でおひらきになりました。

2日目は3時起床でご来光を見に行きました。運良く綺麗なご来光が拝めました。神々しくて、何かすべてに感謝したい気持ちになりました。

テントに戻り朝ご飯を食べて、テントを片付けました。夜中の雨で濡れていたののでテントの干し方や中の掃除の事なども教わり勉強になりました。

下山は往路と同じ砂防新道でした。道端の花たちがたった1日で色や咲き具合が変わった事に驚いたり、登りでは見えなかった工事現場や重機に納得したりしながら下山しました。

2日間でしたが、すごく盛りだくさんのメニューで、超フルコースの充実した白山の旅でした。色々体験出来て本当に楽しい良い山行でした。

○薦田薫（八尾山の会）

昨年8月頭に、平瀬道をピストンで、初白山登頂、大感動でした。

その時は高山植物が終わりかけのものが多かったので、今回は最盛期で見る事ができ大満足です。

初日、南竜ヶ馬場テント場でテント設営後、室堂への雪渓情報は、トンビ岩コース、エコーラインは危険との事で、てっきり展望台コースで登るのかと思いきや、リーダーは涼しい顔でまさかの「エコーラインで行こか」と。

危ないコースですよん！？

短い距離ではあったけれど、チェンスパイクを装着、チェストハーネスでリードしてもらって経験をさせて頂きました。その後の雪渓はツボ足でいけました。

後で分かりましたが、翌日の別山ルートを想定しての訓練だったと思われ、ありがたい事でした。そして御前峰へ登頂、大満喫して、さあテント場へと思った矢先、リーダー2度目のまさか、「お池めぐりしよか」と。人も少なめで、何度も

雪渓を歩き、御嶽山のお鉢めぐりを思い出し、神秘的。

山行後振り返ると、このお池めぐりの光景がよく浮かんできます。

ただ疲れのせいか、写真を殆ど撮っていなかった事がとても悔やまれます。

クタクタで砂防新道でテント場へ戻ると、同じくテント泊されていた二十渉の会の方達から差し入れを戴き、こんな事もあるんだなぁと、労山山岳会の人々の輪を感じました。

食後、テント内であれこれ雑談していると、21時を過ぎていて隣の方から静かにして下さいと注意を受け、猛反省。

翌日は、アルプス展望台でご来光を見て、その後砂防新道で降りると言うルートに変更となりました。彼方に北アルプスや御嶽山の山並みが見えて、3時起き of 辛さも吹き飛びました。

リーダー3度目の「別山ルートで降りよか」のまさか、が出なくて、心底安堵しました。

別山手前の雪渓が危険な状態で危惧していたのと、超ロングルートなため、足に限界が来てたので、精一杯でした。

組織部兼リーダー下窪さん始め、佐藤さん、柏原さんとは、前回の久住山縦走で一緒させて頂いてたので、ものすごく気が楽でした。

テント泊という特別な経験は私のような初心者には厳しいものです。

色々とは迷惑をおかけしたり、助けて頂くことばかりでしたが、得るものも多く、天気にも恵まれ、何もかもがキラキラの思い出となった白山でした。

○佐藤俊明（雑木の会）

初日：いきなりの登りだが、照り付ける陽を遮ってくれる樹林がこの時期には有難い。やがて、ササユリを皮切りに次から次と数えきれない程の花、はな、ハナ、さすがに花の白山。例年同時期に比べてどうなのかよく分からないが残雪の多さに驚きながら、南竜に BC 設営、残雪状況からエコーコースを選択、ワンポイントを簡易アイゼンで抜け、室堂から御前峰、お池巡りを経て、室堂から降り、コブ岩コースから南竜へ天場では連盟の仲間と小交流会、そして明日は別山からチブリ尾根下降から展望コース折返しとすることに。

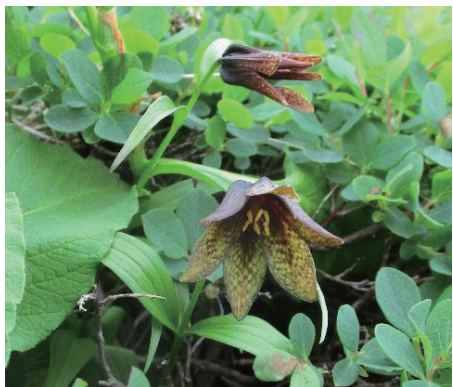
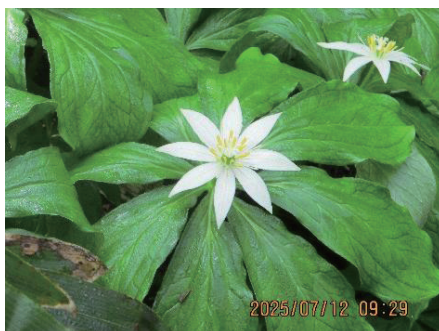
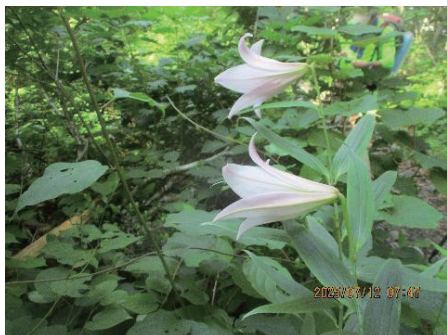
2 日目：3：30 ヘッドランプで天場出発、樹林の隙間から御嶽山が見える、やがて視界が明けた展望台地から、雲海に浮かぶ御岳乗鞍、穂高、槍ヶ岳等が、待つほどもなく黒部五郎辺り？から、赤く染まりかけた空をかき分けるようにご来光は 4：50、いつもこの瞬間は感動を覚える。

天場に戻り朝食、撤収の後、砂防新道を降る、僅か 1 日半だったがこの山行も無事終えることが出来た、又、偶然にも、行き帰りに、二十渉、豊中労山の仲間

と巡り会い、白山温泉まで随所で交流、「百名山の輪」の縁と、出会えた人々に感謝の山行だった。

○下窪義文（つりばし）

今回、百名山の輪に参加の皆様お疲れ様でした。全員無事に下山出来たことに感謝いたします。佐藤さんには車の提供から運転までありがとうございます。柏原さん薦田さんには休憩タイムやコースのアドバイスなど助言ありがとうございます。混成チームでも一つの輪になることがPとして大切なことです。苦しい登りも白山のお花達が雪の下からも出迎えて心を癒してくれました。直前の残雪情報が入り軽アイゼンがなかったら予定通りの行動は出来なかったでしょう。改めて情報収集の必要性を感じています。今後とも無理せず安全登山に努めていきたいと思っています。



事務局

(1) 全国連盟行事

1) 「全国救助技術交流集会の件」対応 ・2025 年 7 月 5 日(土)～6 日(日) 神戸市立神戸セミナーハウス・講堂で開催

・大阪労山から下窪さん参加 ; スタッフ申込みは大見が全国に提出します

2) 全国登山研究集会 11 月 15 日(土) 午後から 16 日(日) 午前 ・6/25Zoom で実行委員会(大阪から大見さん澤村さん高橋参加)

第 19 回全国登山研究集会、第 1 回実行委員会 結果 2025 年 6 月 25 日 理事長 川嶋高志

日 時: 2025 年 6 月 25 日 19:30～21:00 場 所: オンライン (Zoom)

出席者: 全国 川嶋、今野、阿部、大杖、三瓶、平尾、山本尚、山本裕、大阪 高橋理事長、大見事務局長、下窪・澤村理事、欠席 浅瀬、石川、加治

全国登山研究集会の目的

- ① 日本の登山文化・技術を次世代に継承するため、組織の拡大を図る。
- ② 国民が求める多様な登山要求に対応するため、組織の拡大強化を図る。
- ③ 労山の理念を普及する→労山の組織強化。

労山の理念 「**権利としての登山**」 (日本勤労者山岳連盟 趣意書から)

すべての国民は“人間らしく成長し、人間らしく生きる権利”を持っている。登山などの文化・スポーツは、その権利の重要な部分である。行政は、その権利を保障する義務があり、その実現のために登山者は広く国民との共同行動を発展させなければならない。

今回の登山研究集会で考えること

組織数減少の折から、**組織の強化と拡大**について具体的な方法を考える。

→長く安全に山へ向かう知識と技術、未組織者へのアプローチ、自然保護について。

基調講演

これからの労山(仮題) 講演者 川嶋理事長 内容 J W A F Forever Plan

登山寿命の延長(仮題) 講演者 石川副理事長 内容 登山寿命を延ばす講習会

具体的な課題(分科会)

- ① 筋力トレーニングによる転倒事故防止と登山寿命の延長、快適な山行について。
- ② 市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて。
- ③ 自然保護活動の推進について(大規模開発の問題点)

・7 月中に実施要綱を作成して地方連盟に配信する。基調講演と分科会は案とする。

・参加費は一泊二食で 6,000 円とする。

・今回、分科会は上記の三つに絞る。ホームページ・SNS の利用などと若手会員向けの行事は別途に開催を検討する。

・7 月中に第 2 回の実行委員会を開催する。 以上

3) その他の全国行事

・全国自然保護講座 9/27-28 (自然保護委員会の項に詳細あり)

・青森県弘前市 ・若手クライミング集会 10 月

組織部

百名山の輪

6/6 九重山 9 人(7 山岳会) 平治山ミヤマキリシマが美しかった

次回は白山 7/12-13。10/11-13…谷川岳

支援の輪…6/20 から輪島市 7人参加 次回は珠洲市 10人予定 8/30

9/4 組織部会予定

11/2-3 能勢でクラブ交流会予定

自然保護委員会

1. 憲章の実践 6月16日現在 沢村:sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

+ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m以上での目撃に限ります。 ():前期らいちょう 2件(29件) 鳥獣 0件(5件) 昆虫 0件(3件)

環境省・いきものログ投稿:今期・0件 累計・84件 全投稿数・187件

+ 倒木対策 4件(9件)

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を!自治体および私に連絡を。

6/1、泉州労山がクリーンハイク・笠山で倒木2本をノコギリ処理

6/1、八尾労山がクリーンハイク・信貴道で倒木を発見、役所に処置を依頼。

6/1、淀屋橋労山がクリーンハイク・札立山コースで倒木を発見、私が役所に写真を転送し処理を依頼。 未だ、回答なし。

+ 定点写真観察活動(山岳自然の異常現象とかゴミ問題など) 0件(1件)

3.たんぼ調査 3月1日~5月31日 ハイクがてらにたんぼ採取!!

データが少ない自治体がある。みなさん、協力を!!

澤村と青木さんで10数株採取。 これも市民科学と言える

4.クリーンハイク 6月1日、天候に恵まれ各山域とも実施。

25山域より報告あり。参加者数:412人 ごみ:265Kg

倒木報告は3山域よりあり。報告未提出はテンション(岩崎) 自然保護講座

期日:9月27日(土)~28日(日)

開催場所:弘前市岩木青少年スポーツセンター

・50名で予約 8月15日までに男女人数決定しないとイケない

・ジャーナルで参加・投稿を呼びかける

・6/8 青森県連の基金説明会で源島さんが下見および打ち合わせする

宿泊費 3,800円 夕食 1000円 朝食 800円・大会議室 1時間 1000円・談話室 1時間 500円(今年度から値上がりしている)

講師:佐々木邦夫「北海道大学非常勤講師・北海道風力発電問題ネットワーク代表」

(北海道からの交通費・謝礼・宿泊代を支給、空港からの送迎は道川夫婦が行う)

道川勇子ご夫婦(交通費支給・宿泊代は自己負担)

山門水源の森 10月下旬に企画 八尾・中路さん担当

日頃、当地の保全活動や調査に携わっているガイドが、ご案内いたします。

経験豊富なガイドの説明により、多様な自然を楽しんでいただきながら、この森のしくみと保全の重要性を正しく理解していただけることと思います。

グループ・個人を問いませんが、あらかじめ下記の注意事項をお読みいただきご予約ください。特に、旅行会社などは必ず募集前に計画をご相談ください。ご相談のない場合、ガイド依頼を受けられないことがあります。春・秋のシーズンにガイド依頼が重なると人の確保ができなくなりますので、よろしくお願いします。

お申し込みは「有料ガイド申込先」からできます。

●ガイド料：

個人一般・私的なグループ＝10,000円、旅行会社等＝15,000円

(参加者15名につき1名のガイドが基準で、少人数でもこの料金となります。ガイド料は、森の保全活動のために使われます)

ガイド利用の場合、協力金はガイド料に含まれています。

女性委員会

6月6日(金)例会 報告

5月18日(日)こども冒険学校(春)のクライミングは雨のため中止

5月24日(土)近畿ブロック会議 場所 府連事務所 10時から14時

参加 大阪3名 兵庫3名 奈良1名

各県連の報告

(兵庫)女性の為の山登り講座を3月に実施、11名参加 大阪から3名の参加があった

(奈良)毎年恒例のテーピング講習会を7月に実施、30名の参加があり 京都は今回不参加、和歌山は現在女性委員会は消滅状態とのこと

全国連盟はアンケートの回答(581)を受けて、女性委員会の存続を検討することにしてるようです

子どもの冒険学校

・6月8日 午後 ワラジ講習会 4名参加

・8月23日～24日(土日) 夏の冒険学校 募集開始 現在子ども6人応募 京都市立花脊山の家 17人の応募

<https://bokengakko.aikotoba.jp/2025bosshu.pdf>

海外委員会

2025年度以下の報告有り

・パキスタン、カラコルム地方のコサールガン登山(西淀労山 6月18日～16日間)

・ニュージーランドハイキング (OAR 3月20日～11日間)

・中国雲南省ハイキング (OAR 4月27日～9日間)

3ヵ月ごとに報告会 計画会、参加者会議のいずれかを開催 次回はキナバル登山の計画会を7月に予定

平和と登山委員会

2025年国民平和大行進

今年も国民平和行進の時期を迎えました。今年の大阪の平和行進・幹線コースは6月30日～7月7日の8日間ですが、来年からは酷暑対策などを考慮して、この8日間は半日コース、残りの半日分は6月29日以前に前倒しになるようです(検討中)。今年の平和行進は、6月30日に大阪に引き継がれます。大阪到着は、6月30日(月)、柏原市で奈良県連から労山旗を引き継ぎ、7月7日(月)川西市で兵庫県連に引き渡します。大阪労山も8日間、各山岳会・クラブと連携しながら「平和あってこそ登山」の労山の理念に、核兵器廃絶を訴えてながら歩いていきたいと思います。各コース・通過地点・通過時刻(予定)を掲載しましたので、みなさんの都合の良い日時、コースでご参加ください。

【平和行進・幹線コース】の紹介(省略＝ニュース6月号・7月号掲載済)

①各コース担当者です(予定)。6月30日：本田・笠井、7月1日：未定、2日：澤村・大西、3日：澤村・大西、4日：笠井、5日：園、6日：未定、7日：園・笠井

②各コースの担当者、参加者は宣伝車に積んである幟、ポールを準備して下さい。

③参加者は「大阪労山ノート」に所属会、氏名、感想等をお書き下さい。

④参加者はOWAFメールで当日の平和行進の状況、感想を送ってください。

障登PT 「体力を知ろう」講座。第3回目は10月～11月予定で調整中。

教育遭難対策部

1) 安全対策基金（全国連盟から 15 万円の補助）配布状況

50000 山の教室(済み)/ 20000 ハイキングセミナー(済み)/ 20000 中級登山学校(済み)/ 20000 障登 PT (済み) 15000 初級登山学校 (済み) / 15000 初級冬山登山学校 (募集開始後) / 10000 岩登り講習会 (募集開始後)

2) 事故調査委員会

- ・大台ヶ原事故調査 6月7日に現地に出向いたが、諸事情で現地入りできず。日程再調整する
- ・遭難位置について、奈良県警本部に情報公開申請を行う予定（6月18日；大見）
ココヘリで記された場所よりさらに 200m 下の一番危険な場所と判明。

3) 夏山連絡会

- ・7月24日(木)・気象と事故について 報告者と調整中

4) 救助隊の現在の状況

- ・2024 年度の未提出の議案書と会計 会計は案が出てきている

5) ヤグラ整備

- ・ヤグラから張りだしている横棒で、登り返しの訓練を行い、棒が曲がる損傷発生。本来の使い方ではない事例であり、確保訓練には支障が無い。 不安全な使い方に対する注意が必要。
- ・問題点 ウインチ支点と確保支点が近いため、落下時に干渉する 支点を離すよう改造する。またアンカーボルト 6 本も補強が必要

両方合わせて 10 万円くらいはかかりそう。金額が決まり次第理事会承認の上、全国連盟に補助金申請する（6月 7月の理事会で承認が得られるよう進める。 8月初旬に全国連盟に申請する）

- ・やぐら管理委員長 中川さんから提出された辞意の文章を承認。退任時期や引き継ぎは中川さんと協議する

長距離縦走委員会 明日第一回実行委員会開催。実施日は 10/19

ハイキングセミナー 5/25 読図山行実施。6月に入ってテント泊訓練。悪天候時の訓練も必要

6/29 蓬莱峡で実技。

(以上) 文責：高橋明代

提出日

事故一報

提出者	氏 名		会 員 番 号		地 方 連 盟	大阪府 勤労者山岳連盟
	団 体 名				団 体 番 号	

事故者	氏 名		会 員 番 号		年 齢		性 別	
-----	-----	--	---------	--	-----	--	-----	--

事故発生日時	年 月 日		時 刻		☐ 有雪期 ☐ 無雪期
--------	-------	--	-----	--	---

事故発生場所	山 域			都 道 府 県	
	山 名			(標高	メートル)
	場 所				

山行の形態					
	手書きの場合は下記いずれかに○				
	無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー クロスカントリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練				

事故の原因					
	手書きの場合は下記いずれかに○				
	転・滑落 転倒 落石(落水) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷 雪崩 虫・動植物 荒天 そ の 他				

パーティー人数		救助捜索費 ☐ あり ☐ なし	ココヘリ加入 ☐ あり ☐ なし
---------	--	---	--

事故の状況					
-------	--	--	--	--	--

傷病名					
-----	--	--	--	--	--

交付申請の予定	☐ する ☐ しない ☐ 未定	全国労山に提出とともに、大阪労山にも提出して下さい。 jikotodoke@googlegroups.com Fax 06-6467-8545
---------	---	---

交付申請書	受 取 人	☐ 基金担当者 ☐ パーティーリーダー ☐ 会・クラブ代表者 ☐ その他					
	送付形式	☐ 書面の郵送 ☐ PDFファイルのメール送信					
	送 付 先	氏 名		会 員 番 号		電 話 番 号	
		郵便番号		住 所			
		メールアドレス(メール送付の場合は必須)					

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★事故一報と共に、会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 労山基金運営委員会 フリーダイヤル 0120-44-2742(平日10時～18時)

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

- **登録方法** 公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分らない場合は直接登録いただいても構いません。
- **各会登録担当者様へ**
各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただきます。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。
- **登録申請フォーム** <https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>



登録申請フォーム

●**編集後記** 暑い夏が続いている。こんな時期のハイキング。各会はどう工夫されているのだろうか。私の会では7.8月の例会は企画していない。昨年からそうだった。会員は個人山行。入山を6時過ぎからなどの工夫をしてハイキングを続けている。私はといえば6時過ぎにウォーキング。近くの小公園でラジオ体操を続けている。一日のリズムが整い体が軽くなる。…などと書きかけて気分が萎えてきた。暑さのせいでもあるが選挙結果のせいでもある。「日本人ファースト」などと排外主義を唱える政党が比例票で立憲民主を上回ったという事実。確かなデータや事実に基づかない意見を正論として流布する恐ろしさ。生活保護は外国人に優遇されている…外国人による不動産投機が野放し…などと触れ回った。事実はどうなのか自分で調べてほしいと思う。「水はいきなり煮え湯にはならない」（「自由の危機」集英社新書・村山由佳氏の言葉から）。事実に基づいた計画と結果を重んじる登山者として、「火を消し止める」時期を見逃すな…。（高橋明代 2025.7.22・13時 記）

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれび通信（（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、八尾山の会

発行日 2025年（令和7年）7月22日 No.473（2025年8月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西

